

## 加算平均心電図 (SA ECG : signal average ECG)

心筋梗塞などで心臓の筋肉が傷ついたり、炎症や変性が起こるとそれらの心筋の障害された部位において刺激が伝わらなかったり、伝わりにくくなります。障害部位を伝わる電気信号は正常心筋より遅れて伝わることになり、それらを遅延電位といいます。さらにこの傷害部位を介して心室性の頻拍発作を起こしやすくなると言われています。この遅延した微小電位を体表面から記録する検査です。危険な不整脈の一つである心室性頻拍を起こしやすいかという不整脈の発生予知、また症例によっては予後の予測に使われることもあります。

### 検査方法

心電図と同様に胸が出やすいようにしベッドに休み電極を取り付けます。

通常的心電図では見えない微小電位を記録するため、10 分間心拍を加算し記録を行います。

### 検査時の注意点・お願い…

- ✚ 少し時間がかかりますが、力を抜き、なるべく動かずにいてください。
- ✚ 記録の状態により、2回の測定を行うこともあります。
- ✚ ペースメーカー患者様など、状況により記録困難な場合があります。

### 検査時間

約 30 分